

2025年を振り返って（エネルギー関連の主なトピックス）

今年の振り返り**○世界情勢**

- ・国際秩序が不安定化。各国が経済・技術・エネルギー分野での安全保障強化を加速

○政治・経済

- ・国政における多党化が進展。少数与党の中で初の女性総理となる高市政権誕生。積極財政で国力向上、経済成長を後押しする方針打ち出し。
- ・物価高による社会影響の顕在化。

○エネルギー政策の進展

- ・第7次エネルギー基本計画およびGX2040ビジョン等が閣議決定（2/18）、電力システム改革の検証とりまとめ（3/31）
 - 安全性を大前提に、エネルギー安定供給を第一として、経済効率性の向上と環境への適合を図る方針が明確化
 - 将来の電力需要の増加見通しの蓋然性が高まる中で、必要な供給力の確保に向けた制度設計、ファイナンス等の事業環境整備議論が加速
- ・GX推進法改正案が可決・成立（5/28）。排出量取引制度小委員会が設置され、排出量取引制度の詳細設計の検討が開始（7/2）
 - 発電事業のベンチマーク水準等について議論
- ・広域的運営推進機関が、2040年、2050年といった将来の電力需要の伸びに対する供給力不足の懸念を公表（6/25）

○原子力の進展

- ・関西電力が美浜発電所後継機設置検討に係る自主的な現地調査再開を発表（7/22）、調査を再開（11/5）
- ・北海道電力の泊発電所3号機の設置変更申請が許可（7/30）、北海道知事が再稼働に同意することを正式に表明（12/10）
- ・東京電力HDの柏崎刈羽原子力発電所6,7号機の再稼働について、新潟県知事が容認することを表明（11/21）

来年の抱負 「将来を見据えて、着実に前進させる年」

- ・国民生活と経済成長の基盤となる安定供給の確保（再生可能エネルギーの推進、原子力の最大限の活用、低効率な石炭火力のトランジション等）

以上